code-m

SEAT COVER

DAIHATSU

HIJET

専用シートカバー取付説明書

CODE M

www.mirion.jp

〒572-0061 大阪府寝屋川市長栄寺町22-15
mirion
TEL 072-830-6818　FAX 072-830-6819
mail mirion818@gmail.com

code-m

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

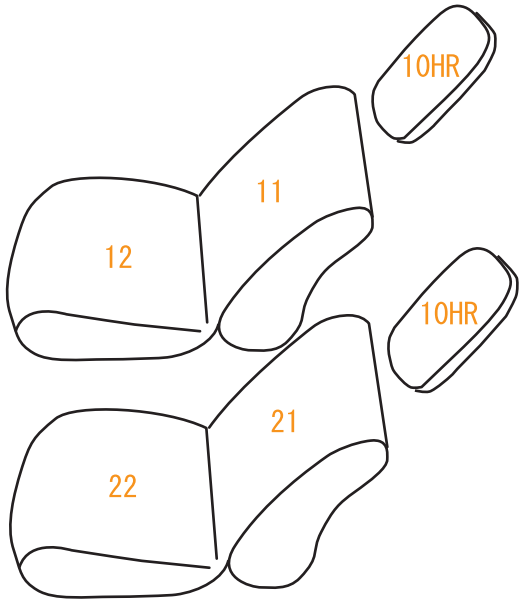
…>03-04

シートカバー装着前の注意事項

…>05-10

シートカバーの装着方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具

❶ ソケットレンチ（10㎜）
❷ プラスドライバー
❸ ヘラ（付属）

この車種では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読み下さい

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）してお客様のシートパターンに合うことを確認して下さい。シートカバーの各部品がどの位置かがわかるように番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何等かの支障があった場合はお買い上げ頂いたお店、または弊社までご連絡下さい。
  事前に連絡なく装着された後での製品に対しての返品・交換等につきましてはお受け出来ませんので予めご了承下さい。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように作成していますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 商品改良の為、予告無く仕様変更をする場合があります。

⚠ 警告

１列目背もたれの両横部分にはSRSサイドエアバッグ対応用の縫製糸を使用していますので、他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。取り付け時には過度の力がかからないようご注意下さい。また、シートカバーを正しく取り付けないと衝突した時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

本製品に関しての注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色が生じることがあります。また高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビの発生が生じることがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残ってしまう場合があります。装着されてから１～２週間ほどで臭いが緩和されてきますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に１週間ほど保管されてから装着をして下さい。また本製品は塩化ビニルレザーを使用していますので燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で燃やさずに必ず各自治体の処理方法に従って下さい。

メンテナンス方法

- 中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に付けて拭き取って下さい。シンナー等の有機溶剤は生地の表面を傷つけたり、ツヤがなくなる恐れがありますので使用しないで下さい。尚、汚れが付着してから時間が経つと取れない場合があります。

3P ▶

シートカバー装着時に関しての注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して作っています。カバー全体に均一に力をかけて取り付けて下さい。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けてしまったり、切れてしまう恐れがあります。
- シート本体のパーツ（プラスチック部品やアームレスト等）を取り外す時に無理に外そうとするとシート本体に傷がついたり、パーツ自体が破損してしまう恐れがあります。
- シートカバーを取付けている最中にシート本体の金属部分やプラスチック部分に接触して怪我をする恐れがあります。
- 取付説明書の順番にカバーを付けて頂くと取付作業がスムーズに進みますので当社では順番通りの装着をオススメしています。また、カバーを取り付ける際には明るくて、地面が平らな広いスペースで、車内のライト類を消して（長時間扉が開いているとバッテリーがあがったり、弱る原因になるため）取り付けを行なって下さい。

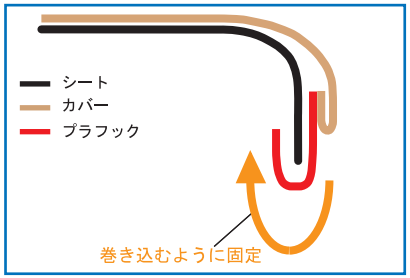
4P ▶

Step 1　座面の装着方法

1　カバーを裏返した状態でシートのラインに合わせます。

2　シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。
背もたれと座面の隙間に、生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい角度で行って下さい。

3　シートを一番前にスライドさせ、2番で入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



4　引き出した生地に付いているプラフックを図のようにシートのフチに巻き込むように引っ掛け、固定します。

5　プラフックが固定しにくい場合は、付属のヘラを使用し、プラフックの隙間を少し広げるようにします。

6　プラフックの固定位置は図の矢印で示した位置になります。

5P ▶

7　シート下には、図のような金属レバーがあります。金属レバーを持ち上げ、ロックを解除します。
シート下にビニールカバーが付いている車の場合、ビニールカバーをめくり上げると金属レバーがあります。

8　ロックを解除し、シートを跳ね上げます。

9　カバー前側に付いているプラフックをシートのフチに引っ掛け固定します。
プラフックの固定が出来たら、7番で解除したロックを元に戻します。

10　側面の生地をシートと金属部分の隙間に入れ込みます。

11　①入れ込んだ外側面の生地に付いているマジックテープを背面に引き出し、②3番で引き出した生地に付いているマジックテープで固定します。
※助手席にはこの作業は必要ありません。

12　カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。
助手席も一部形状が異なりますが、同様に取り付けます。

6P ▶

Step 2　背もたれの装着方法

1　カバー外側面のファスナーを開きます。

4　入れ込んだ生地を背面側から引き出します。

7　カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。
助手席も一部形状が異なりますが、同様に取り付けます。

10　8番で説明した○位置のゴムパーツは、カバー装着時に生地が覆わない形状になっています。

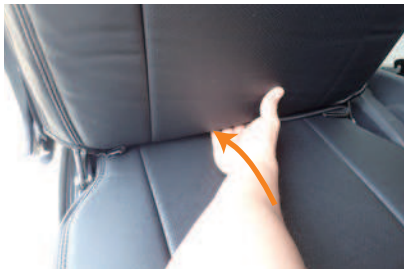
2　シートのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げてシート全体にかぶせます。

5　生地を内側へ寄せながら、ファスナーを閉じます。
ファスナーの先端は、カバーの内側へ入れ込みます。

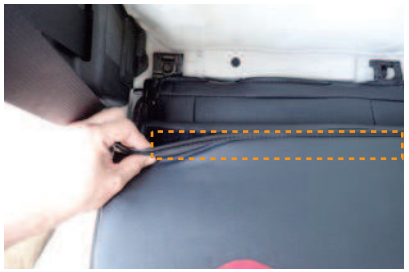
※助手席のみ

8　助手席背もたれの背面には、図のようなゴムパーツが付いています。（計２か所）
○位置のゴムパーツは、カバー装着前に取り外します。
○位置のゴムパーツは、取り外さずにカバーを装着します。

11　カバー装着後の助手席背面は、このようになります。



3　背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい角度で行って下さい。



6　4番で引き出した生地に付いているマジックテープとカバー背面下部に付いているマジックテープを固定します。

9　8番で説明した○位置のゴムパーツを、プラスドライバーを使用し、取り外します。
運転席と同様にカバーを装着し、カバー背面の加工穴とネジ穴位置が合っていることを確認し、ゴムパーツを元に戻します。

7P ▶

8P ▶

Step 3　ヘッドレストの装着方法

1　始めにヘッドレストを車体から取り外します。ヘッドレストは、図の○位置にボルトで固定されています。（計３か所）

2　１番で示したボルト位置の内、下側の２か所には、ボルトの上に図のようなキャップが付いています。

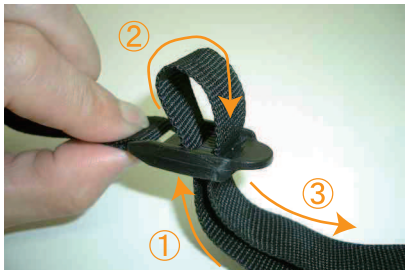
3　キャップを外すとボルトが見えますので、ソケットレンチ（１０mm）を使用し、全てのボルトを外します。

4　３か所のボルトを外すと、ヘッドレストが車体から取り外せます。
この状態で、ヘッドレストにカバーを取り付けます。

5　始めにカバーの上下を確認します。
図の○位置の形状を確認し、ヘッドレストの軸部分をかわす形状（窪みがある）になっている方が上側になります。

6　ヘッドレストのラインからずれないようにカバーを左右均等になじませながらシート全体にかぶせ、カバーに付いているベルトをバックルに通し固定します。ベルトの通し方については、７番を参照下さい。

9P ▶



7　ベルトは、図の①～③の順番にバックルに通します。通したベルトを引く事で、ベルトが締まり固定されます。
強く引き過ぎるとベルトや生地が切れる恐れがありますので慎重に作業して下さい。

8　ヘッドレストを車体に戻し、カバーのラインを整えて、運転席ヘッドレストの完成です。

9　助手席ヘッドレストも、同様に取り付けます。

10P ▶